

【 検 査 】

３６８ C_3 、 C_4 及び CH_{50} （全身性エリテマトーデス）の算定について

《令和６年１１月２９日》

○ 取扱い

全身性エリテマトーデスに対するD015「８」 C_3 、 C_4 及びD015「４」 CH_{50} の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

全身性エリテマトーデス（SLE）は、代表的な膠原病の一つであり、諸種の抗核抗体なかでも抗DNA抗体の介在を特徴とする自己免疫機序の関与の大きい免疫疾患である。SLEの活動期には補体系が賦活化され、補体（ C_3 、 C_4 など）が消費されて補体活性（ CH_{50} ）も低下することより、疾患活動性の評価指標としてのこれらの検査は有用である。

以上のことから、全身性エリテマトーデスに対するD015「８」 C_3 、 C_4 及びD015「４」 CH_{50} の算定は、原則として認められると判断した。